2024 百年の杜づくり あしたのみどりキャンペーン

キックオフ特集

人々が集い、新たな絆が生まれる交流と憩いの場所へ
花とみどりに囲まれた豊かな時間を共に

市民・企業・行政が一体となり、杜の都のみどりを未来につないでいくことを目的に河北新報社が展開する「あしたのみどりキャンペーン」。2009年のスタートから今年で16年目を迎えました。今回は、昨年、花壇づくり支援を受けた小学校と市営住宅の皆さんの奮闘や待望の春を迎えた花壇の様子をご紹介します。

「ふれあい花壇」から地域住民の笑顔の輪を広げたい

仙台市荒井東市営住宅

春を迎え、ビオラとチューリップが咲き競う「ふれあい花壇」。小さかった苗が大きく成長し、見応えのある風景に

ふれあい花壇は、南北に立つ市営住宅2棟の中間地点に位置し、北西の強風にさらされることが多いため、冬場は枯れ葉でマルチングを施すなど、寒さ対策も行いました。花壇づくりメンバーの中心的役割を担う佐藤妙子さんは「4月を迎えるまではビオラもなかなか大きくならず、たくさん花をつけてくれるのかと心配でしたが、見事に育ってくれて今はほっとしています」と笑顔で心境を語ります。春の花々が咲き終わると、ビオラやメドーセージが成長期を迎えます。また、気温の上昇に伴い雑草取りや水やり、追肥などの作業も増えるため、一緒に花壇づくりを行ってくれるメンバーを随時募集しています。

咲き競う春の花たちに喜びを実感

昨秋、あしたのみどりキャンペーンの支援を受け、敷地内の「ふれあい花壇」に一年草や宿根草を植えた仙台市荒井東市営住宅の皆さん。春を迎え、この二段構えの円形花壇にもチューリップやビオラなどが鮮やかに咲きそろいました。遠くからでも見栄えがするようにと原色をまとめて植え付けたビオラは、土を覆い隠すように大きく成長、その合間から顔をのぞかせる色とりどりのチューリップとの競演に「きれいに咲いたね」と声をかけてくれる住民も増えました。

雑草取りや苗の切り戻し作業を行う佐藤妙子さん。「次回はブルーカラーが特徴のネモフィラを植えてみたい」と意欲を燃やします

花壇を起点に世代を問わず楽しめるイベントも計画中

前回行った花壇づくりのワークショップでは、「花と緑の力で3.11プロジェクト（花プロ）」から、土づくりの大切さとローメンテナンスでコストをかけない持続可能な花壇づくりを学びました。佐藤さんをはじめ、一緒に花壇づくりに動じるメンバーの皆さんは、今後も継続してたくさん花を咲かせたいと意欲的です。

また、花壇づくりを起点とした地域イベントの開催も計画中で、「ボランティアの大学生の皆さんと共に、キッチンカーやコーラスなどのミニステージも盛り込んで、世代を問わず誰もが楽しめるイベントを開催してみたい」と話す佐藤さん。花壇のように彩りあふれる交流が生まれ、地域住民の笑顔の輪が広がることを思い描いています。

学校、保護者、町内会、みんなで育み、交流を深める花壇

仙台市立通町小学校

環境委員の皆さんが、咲き終わったチューリップの花がらを一つ一つ丁寧に摘み取ります

「みんなで作り上げる花壇」が春の花でいっぱいに

「みどりを通して学校や保護者、地域の方々と交流を図りたい」そんな思いから、昨年、あしたのみどりキャンペーンに応募し、同年11月、校庭にある植栽スペースに「みんなで作りあげる花壇」を整備した通町小学校。職員や保護者、PTA、町内会の皆さんが土台づくりを行い、当時の6年生が苗や球根や根株を植え付けて完成させた花壇が待望の春を迎えました。シラカシやキンモクセイを取り囲むように、色とりどりに咲き誇るパンジーとビオラ。その合間からたくさんのチューリップが立ち上がるかのように彩りを添えています。

この花壇づくりの取り組みを進めてきた後藤信博校長は「おかげさまで素晴らしい花壇になりました。町内会の皆さんからも『小学校ならではかわいらしい花壇ですね』と感想をいただきました。作業してくれた当時の6年生の中にも、出来栄えを見に来てくれた生徒がいました」と顔をほころばせます。

「みんなで作り上げる花壇」を背景にみんなで記念撮影！これからの季節は水やりや草取りを中心に作業を頑張ります

環境委員の児童たちが花壇づくりをサポート

暖かな陽気に包まれた4月25日の午後、花壇の手入れをしようと、通町小学校環境委員の児童たちが校庭に集合しました。環境委員には5・6年生の児童約20人が所属し、緑化活動をはじめ校内で飼育するメダカの世話や古紙の回収作業など、校内の環境整備全般を担っています。

環境委員の穂積奏一朗さん（写真左）と真崎咲良さん。「全校児童に花壇を大切にしてほしい」と話します

今回の主な作業は、スギナなどの雑草取りとチューリップの花がら摘み。顧問の先生の指導の下、児童たちは注意を払いながら雑草を抜いたり、咲き終わって大きく広がってしまったチューリップの花をハサミを使って丁寧に摘み取りました。チューリップは、茎や葉が枯れたら球根を掘り起こして風通しの良い所で保管し、秋に再び植え付ける予定です。これからは夏に向けて気温も高くなるため、水やりなどの作業も重要になってきます。

環境委員で5年生の真崎咲良さんは、「草取りをして花壇がきれいになったのがうれしい。これからも委員のみんなと大切にしていきたい」と話します。委員長を務める6年生の穂積奏一朗さんは、「花好きのおばあちゃんがいるので、もともと植物が好きです。花壇には、ヒマワリなどの夏の植物を育ててみたいです」と意気込みを話してくれました。

花やみどりを介してさらなる地域の交流を

「花壇づくりはゴールではなく、スタート」と話す後藤校長。2年目となる今年度も昨年と同様に保護者や町内会、PTAの皆さんとワークショップなどを開催し、植栽プランなどを共に考える予定です。その他、ナスタチウムのハンギングバスケットを作って校庭沿いのフェンスに飾ったり、花壇で元気に育った植物から種をとり、地域の学校や幼稚園などにプレゼントしたりするプランも考えています。「昨年から花壇づくりを進めるなかで、全校児童の間にも植物を慈しむ心が浸透し始めているように感じます。花やみどりを介して、校内だけでなく、家庭内のコミュニケーションや地域での交流を深められたら本当にうれしいですね」と語る後藤校長。通町小学校の挑戦は、これからも続きます。

今後もあしたのみどりキャンペーンは、みどり豊かな杜の都であることを願い、市民一人一人にみどりがもたらす潤いとそこからつながる交流の素晴らしさを広げることを目指し、活動を展開していきます。

企画・制作／河北新報社営業局

ふるさとの杜（もり）再生プロジェクト

百年の杜づくり 仙台市

第一回グリーンインフラ大賞受賞

プロジェクトの目的・目標

東日本大震災で失われたみどりの再生に加え、復興の過程で生まれる新しいみどり（=ふるさとの杜）を市民協働で植え育てることで、やがて防災や環境保全の機能を持つ東部地域固有の風景を再生し、市民の暮らしに根差したみどりを創造します。

また再生した「ふるさとの杜」を活用し、レクリエーションや文化活動を行うことで市民の心のふるさとを目指します。

育樹会

30分からできる「ちょいボラ」

参加費無料 各回事前申込不要

育樹会持ち物：汚れてもよい服装、帽子、手袋、長靴、飲み物、タオル

小学生以下お菓子プレゼント！

●虫対策のため帽子・長袖・長ズボンを着用してください●

会場 海岸公園第一野球場南側　時間 9:00～12:00 育樹作業（時間内参加・解散自由）

同時開催 こどもと自然に親しむミニイベント 10:30～11:30（先着15名、当日9時より現地にて受付）

第42回育樹会	第43回育樹会	第44回育樹会
開催日 7月20日(土)	開催日 9月21日(土)	開催日 10月19日(土)
ミニイベント 虫とあそぼう♪	ミニイベント 虫とあそぼう♪	ミニイベント わくわく生きものかんさつ

小学生・中学生ボランティア大募集！ボランティア活動参加証明書を発行！

海辺のみどりを育てよう！

育樹会事務局：海岸公園センターハウス TEL：022-288-4021（9:00～17:00、火曜日休館）

※荒天の場合は翌日に順延となります。開催の可否は海岸公園センターハウスblogで当日ご確認ください。➡

仙台ふるさとの杜 再生プロジェクト 育樹活動のようす

育樹活動 東北学院高等学校 4月16日(木)・4月25日(木) 5月16日(木)

東北学院高等学校の3年生が荒浜地区で除草活動やクロマツの枝打ちを行いました

育樹活動 5月25日(土) 東北大学

東北大学の生徒や留学生が海岸公園センターハウス周辺の除草活動を行いました

育樹活動 第15回ふるさとの杜再生プロジェクト植樹会 6月1日(土)

高砂地区の方々や近隣小中学校の児童生徒とコナラなどの苗木500本を植樹しました

育樹活動 6月2日(日) 仙台第一高等学校

仙台第一高等学校硬式野球部の1年生と父母が荒浜地区で除草活動を行いました

ふるさとの杜再生プロジェクトに関するお問い合わせは、仙台市建設局百年の杜推進課 022-214-8392　メール：ken010242@city.sendai.jp

豊かな環境づくりは、おいしいお米づくり。

みやぎの環境保全米

自然にやさしい
水や土を守り、生き物を守ることができる。
みんなにうれしい
安心・安全なお米をお届けできる。
未来へむけて
安定した食糧供給に貢献できる。

美味しさそのまま、エコで時短！
無洗米キャンペーン
キャンペーン期間 2024年 7/21(日)～8/31(土)

A賞×50名様 仙台牛（500g）＋加工品セット（1万円相当）

B賞×50名様 国産のお米から生まれたうつわ ほわりシリーズセット（5千円相当）※色は選べません　お米袋にはオリジナルロゴを印字！

Wチャンス賞 みやぎの環境保全米 450g 100名様

※写真はイメージです

宮城米について詳しくは https://m-hozenmai.jp/ うまさにいちず みやぎ米 検索

JAグループ宮城

「杜と水辺」を守る活動を応援

50年後も100年後も、杜の都のみどりと広瀬川の自然を未来につなげ、一人一人に、みどりを育む活動を広げることを目指し展開します。

2024あしたのみどりキャンペーン 本日スタート！ 12月31日(火)まで

WEBサイトはこちら https://www.a-midori.jp あしたのみどり 検索

お問い合わせ先 河北新報社営業局業務推進部 TEL…0570-093746　受付時間…9:30～12:00、13:00～17:00（土・日・祝日は除く）

みどりを楽しもう！ わたしの好きな「みどりのある風景」募集

宮城県内で、あなたの好きな公園、森林、田畑、緑地、公共施設、民間施設、道路、街角、一般家庭、その他で、みどりや花などがある気に入りの場所の情報を、画像データにコメントを添えて投稿してください。お寄せいただいた情報は、あしたのみどりキャンペーンのWEBサイト内および一部を河北新報紙面で紹介させていただきます。

応募方法 あしたのみどりキャンペーンWEBサイトの投稿フォームから必要事項を入力し、画像を添付の上、投稿してください。

応募期間：10月31日(木)まで
公開期間：6月28日(金)～12月31日(火)
期間中ご応募いただいた情報を随時公開

投稿いただいた方には抽選でプレゼントが当たるチャンスも！
詳しくは、WEBサイトをご覧ください。

みどりを育てよう！ 「植樹・花壇づくり支援」希望団体 募集

仙台市内を拠点とする、町内会、幼稚園・保育所、学校、地域の非営利団体などで、植樹や花壇づくりなどの支援を希望する団体を募集します。地域に花やみどりを育てるために活動する、皆さまからのご応募をお待ちしています。

応募方法 あしたのみどりキャンペーンWEBサイトの応募フォームから、必要事項を入力の上応募ください。

応募期間：7月31日(水)まで
植樹・花壇づくり支援 実施時期：9～10月（予定）
実施数：1～2カ所を予定

応募には条件があります。詳しくは、WEBサイトでご確認ください。